

広 報

かわち

-----人口と世帯-----

人口	12,081人
男	5,717人
女	6,364人
世帯	2,564戸
(6月1日現在)	

発行 河内村役場 編集 産業開発課企画係
発行日 昭和50年6月20日 No.98



5年前は農業の一転換期、国の施策で農作物の転作が奨励された。

ハウス園芸の研修を終えたばかりの農業後継者大野佳美君(24才、西)は20haの米作だけでは⁶⁰⁰⁰とその時を機に畑を好きになら栽培に転作今は13haのハウスが7,000本のバラでいっぱいだ。

誠意と努力で

明るく豊かな村づくりを



村長 杉山 貢

農業近代化と

合理的経営を

その一つとして、農業の近代化と合理的経営の推進であります。

この度の選挙において、皆さま方の温かいご支援により再び当選させていただきました。これからの四年間、全村民が明日への大きな期待のもてる村づくりに挺身いたす決意であります。

私は、過去四年間、皆さまのご協力により、公約の実践と村民の福祉の向上に全力を尽してまいりました。おかげをもちまして村政全般にわたり、堅実に進展することができたものと思っております。河内村の前途を考えますと、まだまだ残された諸問題が山積してあります。

私は、今後四年間の運営の基本方針として、次の三点を村政の柱として、諸施策を進めてまいります。

創造性豊かな

人間の育成を

その二つとして、豊かな教育、文化の振興であります。よりよい郷土を築くために、は、新しい時代に適応し得る創造性豊かな人間の育成をめざす教育が肝要であると信じます。

著しく変動する社会の中に

あって、人間の回復と体力の向上が強調される今日、特に、健康で豊かな人間性を培う教育こそ重要な課題であると思えます。

これに即応するため、学校施設の整備強化に重点をおき武道館、村民体育館、村民プールの建設等の推進を図り、公民館活動の積極的な社会教育活動を進めてまいりたい所存であります。

また、新東京国際空港の開港にともなり航空機の騒音対策として、教育施設の防音改善工事を実施することは申すまでもありません。

福祉施策を

重点的に

その三つとして、温かい福祉の推進であります。社会的に弱い立場におかれている人々に愛の手をさしのべ、独居老人、ねたきり老人及び身体障害者の福祉対策、そして、村民医療と健康保全のため診療所の改築及び運営

の改善など、施策に厚味を加えて、村民が健康で安全かつ快適な生活が享受できる環境の確保を図り、更に、上下水道事業の促進をはじめ、道路整備、交通安全対策の推進、明るく住みよい、そして豊かな村づくりを積極的に進めてまいります。

以上、再就任にあたり村政運営の基本方針を申し述べ、山積せるものらの問題を解決するため、計画的な行財政運営につとめ、なお一層村民の信頼と期待に応えよう、不退転の決意をもって対処してまいりたいと存じますので、一層のご協力とご支援をお願ひ申しあげまして、ごあいさついたします。

選挙結果報告

六月一日に行なわれた河内村長及び議会議員補欠の同時選挙における結果について、次のとおり報告いたします。

●選挙当日の有権者

●投票者数

男	四、〇七五人
女	四、三六八人
計	八、四四三人

●投票率

男	七一、二四%
女	七四、四三%
計	七二、八九%

●得票数

村長	杉山 貢	四、一八九票
	岡野七郎	一、八四七票
	無効	一一八票

議員	岡野新作	二、一五〇票
	橋本新平	二、〇四八票
	杉並福松	一、二九〇票
	無効	三一一票

●臨時村議会から

五月十二日に第三回臨時村議会が開かれ、次の四議案が審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

(第一号議案)
河内村税条例の一部改正す
(次ページ最下段へ)

新議員紹介

六月一日に村長選挙と同時に
行なわれた村議会議員補欠
選挙において当選された新議
員を紹介いたします。



野新 作
初 (42才)

新橋 自動車業
交通安全協会役員



橋本 新平
初 (48才)

下加納 商業
公民館分館長

行政相談委員



板井 昇氏再任
本村担当の行政
相談委員
氏(下金)
電話六局二三七三番)が再
任されました。
行政相談委員は、国の行

民生委員決る

これから三年間、生活保護
や母子福祉などの仕事をして
くれる民生委員が、次のとお
り次りました。

氏名 令部 落職

板井 昇	72	下金 農
広沢 伊平	69	田川
野沢和太郎	71	四ツ谷
石井 正平	62	大鍋
古手 正直	64	早井
石山 正男	67	関場
小西 喜市	56	古田向
秋山よ志	54	坂通
飯塚 ちみ	54	古河林
畑井 茂男	59	保村
小倉喜美子	54	愛宕町 商
湯野 たけ	60	長卒 助
吉田 すが	59	中金 無

政全般について、みなさん
がおもちの苦情や要望、意
見などを聞えて、その改善
を図ることを任務とする。
国と国民をつなぐパイプ
役です。
役所の仕事について、そ
れらをおもちの方は気軽に
お申し出ください。無料で
秘密に取り扱ってくれるこ
とになっています。

各種団体の 役員決る

藤田 健二	50	片巻 農
鈴木 一男	62	下加納
塚本 しな	50	上金
青野百合子	55	上金
内藤 清	50	上金
寺崎 敏夫	57	小巻
佐川 清	64	平三郎
雑賀 義雄	65	長卒

●みのり会

会長 鈴木 静	下加納
副会長 石山 久子	生板
坂本 松江	源清田
大古 とき	長卒
支部長 秋山 都司	中道
小泉 とめ	四ツ谷
飯富 志ん	羽子駒
田中 志げ	中上
中原 志げ	片巻
高橋 くに	金江津

●婦人会

会長 青野百合子	上金
副会長 野沢 静子	四ツ谷
鈴木 よし	下組
本多 君子	下組
飯森よしえ	中道
高野 友子	早井
石山 候江	猿島
小栗 美江	中上
荒井 なみ	田川

●分館長

第一分館 欠員	
第二 仲山 仁	小巻
第三 山本 茂雄	手栗
第四 河野雄一郎	中野
第五 酒井 哲夫	加納
第六 青野 正	中金
第七 金沢 昭一	平川



左端が大野さん

「故郷に錦」

ブラジルの大野氏

十六年前にブラジルへ移住
し、現在は七・五haの耕地を
有するまでに成功した大野勝
治氏(37才・関場)が、この
ほど先祖の墓参のため帰国、

(前ページ最下段より)
る条例
住民税の各種控除の額を引
きあげたもの
〔第二号議案〕
河内村国民健康保険条例
の一部を改正する条例
年度途中において、資格を
取得(又、喪失)した場
合における月割課税の条文
を改正したものである。
〔第三号議案〕
昭和五十年年度河内村一般
計暫定予算の補正について
才入才出それぞれ二九、七
〇千円追加しました。
これは生小のブルー建設に
用る費用が大部分です。
〔第四号議案〕
ブルー新設工事請負契約に
ついて
生小ブルー新設工事を二六
四〇千円で金江津の細谷建
設工業が請負うことになり
ました。

大野さんは、昭和三十四年
裸一貫でブラジルに移住、四
年間、現地の農場に働き、苦
勞の末に農業経営として成功
を納められたもの。

医療費高騰

保険税三九・六%増額

昭和五十年年度の保険税が一
世帯当たり平均四、二五六円、一
世帯当りでは一六、六六七円
増額されますが、前年度にく
らべると三九・六%の増とな
ります。(別表参照)

三千万円以上の 増収を確保

なぜ増額しなければなら
ないかを説明しますと。

国保会計の運営は国庫補助
金と保険税、それに一般会計
からの繰入金などによってま
かなわれていますが、村が医
療機関に支払うお金(みなさ
んが三割支払った残りの七割
の医療費)が、別図グラフで
もわかりますように年々急上
昇しているため、現行の保険
税と、少ししか増額されない
国庫補助金の収入では、国民健
康保険の健全な運営はできな
い状況にあるため、五十年
度においては三千万円以上の増
収を確保しなければなら
ないのです。

国民健康保険総予算にか
ける保険給付費(村が医療機
関へ支払うお金)の割合が九二

※以上にもなっているからで

国民健康保険事業の医療費と税の推移

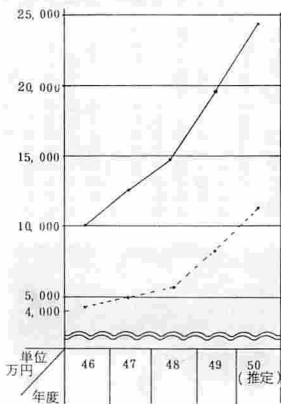
区分	年度	46	47	48	49	50(推定)
年間の医療費用額		9,9716 ^{千円}	125,904 ^{千円}	147,284 ^{千円}	194,661 ^{千円}	242,678 ^{千円}
年間の1人当平均額		11,054 ^円	14,148 ^円	16,842 ^円	22,344 ^円	29,049 ^円

村負担の医療費用額

す。
以上のことをご理解くださ
いまして、国保財政確立のた
めに、被保険者であるみなさ
ま方のご協力をお願い申しさ
げます。

区分	年度	46	47	48	49	50(推定)
年間調定額		41,686 ^{千円}	47,874 ^{千円}	58,394 ^{千円}	81,339 ^{千円}	113,514 ^{千円}
一世帯当りの平均額		2,0875 ^円	2,3747 ^円	2,8865 ^円	4,0247 ^円	5,6914 ^円
1人当りの平均額		4,621 ^円	5,315 ^円	6,631 ^円	9,336 ^円	13,592 ^円

保険税の推移



点線…保険税 実線…医療費用額

忘れずに 児童手当現況届けを

の児童手当が受けられなくな
りますので、かならず提出し

児童手当
を受けされ
ていた方は
毎年一回、
六月末日ま
でに児童手
当現況届を
役場へ提出
することと
決められて
います。
この届を
出さないと
引きついで
て受給資格
があっても
六月分から
この届を
また、支給される額は、三
人以上の児童のうち出生順に
数えて三人目以降の義務教育
終了前の児童一人につき四千
円を、四ヶ月分まとめて、六
月、十月、二月の三回支給さ
れることになっています。

てください。

なお、受給資格は、日本人
で十八才未満の児童を三人以
上養育しており、そのうち一
人以上がまだ中学校を卒業し
ない児童であること、それに
養育している人の前年の収入
が一定額(たとはば扶養親族
が五人いる場合は三二二万円
以上の収入)に満たないこと
となっております。

好成绩だった

交通安全運動

五月十二日から二十一日までの十日間、各地に展開された「春の交通安全運動」は、事故による負傷者大巾減少、死者ゼロという好成绩を納め無事終了しました。

本村交通安全協会でも、五月十五日に交通安全母の会、交通安全少年団による村内、リードを行ない、また、安全運動期間中、母の会会員による街頭指導の実施により交通事故ゼロの成果をあげた。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

協福社 十万円寄付



長卒の本橋徳次さん(75才)から村の社会福祉協議会に十万円の寄付がありました。本橋さんは、老夫婦で旅行に思っていたのですが、都合でとやめることに



写真は源小少年交遊団のパレード

なっていました。若い頃に苦労したことが思い出され、このお金を困っている方々のために使いたら、と思いい、社会福祉協議会に寄付されたもの。河内村社会福祉協議会では会の貴重な活動基金として使用させていただきます。ありがとうございます。

通開橋才万

本村住民ばかりでなく、竜ヶ崎市や利根町など隣接市町村の方にとっても重要な役割を果たす「万才橋」が装も永久橋に改めこのほど完成、五月二日に国会県会議員、隣接市町村長などを招き開通式を行いました。

なか、式のと三夫婦三組を先頭に渡り初めも行なわれました。

総工費 一四、八五六万円
橋長 三四、四九 m
巾員 九 m
工事施行者 柳箒崎工務店

場広の童子

下金江津にある水神宮の境内が、近所の子供たちの遊び場になっていることから、子供たちをさがあっては、と数年清掃が続けられている方がおられます。

その人は、下金江津の高橋なかさん(51才)で近所の人から感謝されています。

地現作稲

会導指

河内村稲作研究会では米作実収日本一の記録をもつ小室秀俊氏を招き、第三回現地指導会及び講演会を次の日程で実施しますので、次のご参集下さるようお知らせいたします。

日時 六月二十五日(午後一時)
場所 角崎十角排水路角(田中正一さんの圃場)
尚、次回は七月中旬の予定
五、五、五、五、五、五、五、五、五、五

ろうあ克服
ろうあ者のハンデを克服、自転車週日本一周を目指している青年が、五月十五日日本村役場に立寄った。

一周日本自転車

この青年、兵庫県日高町の谷口明弘君(21才)は、ろうあで不便な仲間との励みになり、心・心の触れ合いを回復させようと発奮、「人情十心の触れあい」ロマンの旅」を目標に、自転車日本一周に旅立ちました。

米から寝具まで生活用品一式を自転車に取りつけ、四十



生小総合優勝

小学校陸上競技会



児童の体育向上を目標に毎年行なわれている村小小学校対抗陸上競技大会が五月二十三日、河内中グラウンドにて行われ、総合成績では県の体育研究指定校になっている生板小学校が優勝しました。種目別の優勝者は次のとおりです。

- ▽五〇m競走
五男 沼崎 雅一 (長小)
五女 田仲 雅美 (金小)
六女 野口 弥之 (長小)
六女 菅沼 初江 (金小)

▽ポール・スロー

- 男子 山田 浩之 (生小)
- 女子 堀越富美江 (金小)
- ▽一〇〇m競走
五男 沼崎 雅一 (長小)
- 五女 長島麻季子 (生小)
- 六女 坂巻 克美 (生小)
- 六女 和泉 圭子 (長小)
- ▽走り巾とび
五男 山中 昇 (生小)
- 五女 桜井 敦子 (金小)
- 六男 平川 幸雄 (長小)
- 六女 竹尾みどり (金小)
- ▽六〇mハードル
五男 岡部 信之 (長小)

- 五男 山中 昇 (生小)
- 五女 桜井 敦子 (金小)
- 六男 平川 幸雄 (長小)
- 六女 竹尾みどり (金小)
- ▽六〇mハードル
五男 岡部 信之 (長小)

電気事故に注意

○ 小屋には鍵をかけてありますか。
○ 小屋の戸締りをわすれると子供遊び場になり思わぬ電気事故になります。
○ 小屋は雨もりしてませんか。
○ 電気は湿気をさらいます。モーターなどの絶縁が悪くなり感電事故の原因やモーターの寿命を短かくします。
○ コードはいたんでいません。(東京電力電ケ崎営業所)

- 五女 小島美智子 (生小)
- 六男 寺本 勝 (生小)
- 六女 小松崎絵美 (湧小)
- ▽一、〇〇〇m競走
男子 伊藤 満晴 (湧小)
- ▽八〇〇m競走
女子 高山加代子 (湧小)
- ▽走り高とび
五男 秋山 克己 (生小)
- 五女 稲原 尚子 (金小)
- 六男 大竹 茂 (長小)
- 六女 雑賀 君子 (長小)
- ▽四〇〇mリレー競走
五男 長小チーム
- 五女 江崎、田中、岡部、沼崎
- 五女 生小チーム
- 五女 小島、村野、坂本
- 六男 生小チーム
- 六女 坂巻、寺本、吉田、坂本
- 六女 金小チーム
- ▽秋山、菅沼、稲賀、細谷

余生を楽しく

年老いた余生を、作詩する
ことで満たしている八十才の
オバさんがいいます。

古通の秋山ゆりさんは、十
数年前から替え唄や作詩に趣
味をもつようになり、これま
でに五十余の作品ができました。

その中で一番この村に合っ
ていると思う「みりの会の
唄」を紹介しますので、どな
たか作曲してみませんか？

(1)利根の流れに 春がすみ
四村合わせ九 名は河内

刀水俳句

草笛や少年馳せて野に染る
春蘭の風は焰となりにけり
松刺の声吹きあげて円覚寺
春蟬や尼僧庭掃く音しづか
栄枯いざ家系清しく桐吹きぬ
つゝましく語る瞳の追う桐の花
桐の花広き庄屋の屋敷跡

共に生れた 夢の花
名づけて楽し みのり会
仕事する風か 夏の雲
仕事事と ひとすじに
乙女の頃の 赤い帯
今も心に ゆれている
仕事にも 機械化で
今は文化の 機械化で
作業の進み めざましく
穂りの秋の りれしさ
（4）バスを連らねて 年毎の
名所めぐりに 旅の空
はづむ心に みなりたえ
ガイドは語る 窓景色
（5）女と生れた よろこびと
あふれる段どの 幸を
心のどかに 集う今日
名残りもつきぬ 舞扇

(昭和四〇年作)

- 小倉 しげる
- 高橋 正弘
- 海保 白雲洞
- 小林 一板子
- 市島 文子
- 中島 松坡
- 野沢 一風